



# まきのはら 教育委員会だより

## 生活の違い

もりた  
森田のえるさん(相良中3年)

学校へ通い、勉強をしたり  
友達と遊んだりという何気ない  
生活、この生活は当たり前ではない  
と気づきました。

世の中には家がなくて苦しんでいる人や親がいなくて  
悲しんでいる子供もたくさんいます。彼らのために、たくさ  
んの寄付を集めることは私にはできません。しかし、残さ  
ず食べる、物を大切にする、ごみを減らすなどできること  
もあります。

世の中の誰もが「幸せ」と感じ、  
子供達は学校に  
行くことが当た  
り前となる世の  
中になることを  
私は願っています。



～家庭と地域で  
子どもを育てる～

## 農業と心の関係性

おおいじゅん な  
大石 純菜さん  
(牧之原中3年)

最近、私は荒れた茶畠を見るともっと活用でき  
ないかと考えます。なぜなら、農業は植物だけで  
なく、人の心も成長させると考えているからです。

一つは、植物の健康状態を思いやる心。もう一  
つは、消費者のニーズを考える心です。これら  
の心とお茶にかけた月日に比例して、美味しいお茶  
に育つのです。このような農業は、人との接し方が  
変わってきた現代社会に大切なものだと思います。

私は茶業を営む自分の家が、自慢  
です。だから、私はこれからも農業  
を通して、人に対する接し方を学  
び、人を思いやる心について自分  
自身を見つめ直していくこうと思  
います。



第2部では、教育サポーターの仲島正教氏を講師に迎え  
講演会が行われました。

「出会えば心が動き、話せば温かくなり、繋がれば行動が

2019年  
田畠意次候生誕 300 年

<前面>市民のつどい「わたしの主張 2018」作文

<中面>全国学力・学習状況調査結果/牧之原市教育委員会表  
彰お知らせ/英検2級合格/自己点検・自己評価/史料  
館特別展/新教育委員任命/地方教育行政功労者賞/  
教育のあり方検討

<後面>中学校秋季大会結果/編集後記

## 未来を守るために鍵

わかばやしり お  
若林莉央さん(御前崎中3年)

世間では、石油や石炭は今後百年ほ  
どで底をつくと言われています。私たち  
の生活にはそれらの資源が必要不可欠です。  
リサイクルや節約、石油等に代わる新たな資源の発見  
等、少しずつ工夫することが必要です。

併せて、私たちの生活の在り方も考える必要がありま  
す。新しく便利な物を生み出すことも良いことですが、昔  
のように少し不便でも必要最低限で良いと思える心も必  
要です。

私たちの意識次第で変わるとと思います。一人一人が  
真剣に考えることで、持続可能な社会が実現で

H30.11.10

きます。私もその鍵を握る  
大切な一人として生き  
ていきます。

## 市民のつどい 開催

## わたしの主張 2018 作文

青少年の健全育成と明るい社会づくりを考える「市民のつどい」が史料  
館で開催されました。第1部「わたしの主張2018」では、市内の4中学校  
から選ばれた優秀作品の受賞者を表彰しました。その後、受賞作文  
を発表しました。また、人権擁護委員が活動紹介をしました。

## 命の意味

やまもとれつ  
山本烈さん  
(榛原中3年)

テレビやラジオのニュースでお年寄りや障がいを  
持った方に対する差別やいじめを見たり聞いたりする  
と、僕はとても悲しくなり、腹が立ちます。みんな同じ  
命なのに。

僕の祖父は車イスで生活をしていて、自分が思うよ  
うに動けないことにいらだつこともあります。それでも  
僕にはそんな姿を見せらず、笑顔で話しかけてくれま  
す。オセロや将棋を教えてくれたり、優しい人にな  
るこ

とや自分の視野を広げ、いろいろなことに気  
づける人になれと諭してくれたりします。

僕は、どんな人でもみんなが手をさしの  
べ合って、力を合わせ、生き生きと生  
きていく世の中を作りたいと  
思っています。

変わる」「家庭だけでなく、学校や地域を含めた周りの声で  
子ども達の自尊感情は育つ」等の話があり、改めて人と  
の関わり方の大切さを感じた講演会でした。

平成 30 年度

# 牧之原の子どもたちの学力・学習の様子

## ◆ 全国学力・学習状況調査について

子どもたちの学力や学習状況を把握し、今後の教育活動の改善に役立てるために実施されるものです。

### ～調査の構成～

#### ①質問紙調査

➡ 学習意欲、生活習慣等の意識調査

#### ②(A 問題)知識

➡ 主として知識を問う問題

#### ③(B 問題)活用

➡ 主として活用・応用に関する問題

※「ほぼ同じ」は全国平均正答数との差が0.5問より小さいことを示す。

小学校	国語 A (12 問)	国語 B (8 問)	算数 A (14 問)	算数 B (11 問)	理科 (16 問)
平均正答数の全国結果との比較	1問分低い	ほぼ同じ	ほぼ同じ	ほぼ同じ	0.5問分低い
中学校	国語 A (32 問)	国語 B (9 問)	数学 A (36 問)	数学 B (14 問)	理科 (27 問)
平均正答数の全国結果との比較	ほぼ同じ	ほぼ同じ	0.5問分高い	ほぼ同じ	0.5問分高い

問い合わせ：学校教育課 53-2645

## 牧之原市教育委員会表彰

教育委員会では、平成 30 年度に市教育の各分野において功績のあった個人や団体を表彰します。次の表彰基準を満たす方がいましたら、担当課までお知らせください。

#### ▼表彰基準

- ①牧之原市少年少女ノーベル賞  
大会・コンクール等で、全国8位同等以上
- ②牧之原市教育委員会表彰  
大会・コンクール等で、県大会1位同等以上

#### ▼締切

平成 31 年 1 月 4 日(金)

※過去に受賞した方は同分野での表彰は対象外となります。ただし、教育委員会表彰を受賞した方がノーベル賞を受けることはできます。  
詳細は、市のホームページをご覧ください。

【担当 教育総務課:53-2642】

## 英検にチャレンジ!!

教育委員会では、相良庁舎を会場に年に3回英検を実施しており、毎回 50 人前後の中学生が挑戦しています。今回は、2級(高校卒業レベル)に合格した相良中学校3年生片瀬柚花さんを紹介します。

幼稚園時からレッスンを始め、小学生で4級、2016 年に準2級、今年2級に合格しました。

異言語・異文化を積極的に自分の中に取り入れていこうとする片瀬さんの将来が楽しみです。

(※市が 2017 年に英検準 2 級会場を設けて以来、14人の生徒が準 2 級に合格しています。)

### 片瀬さんの夢

- ▼ネイティブの方とのコミュニケーション
- ▼海外へのホームステイ
- 英検準1級、1級の取得

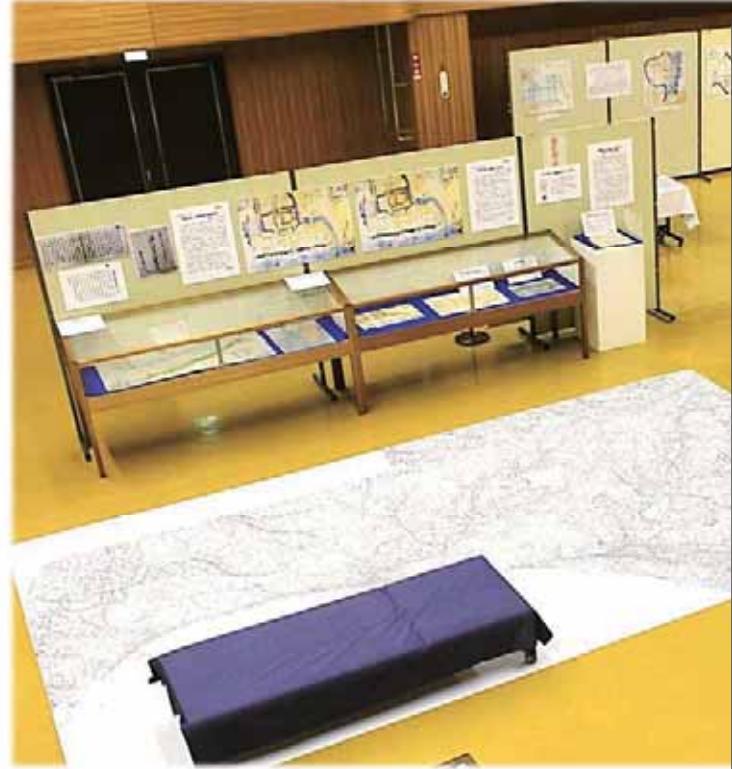
## ▼平成 29 年度牧之原市教育委員会自己点検・自己評価報告書を作成▼

教育委員会では、効果的な教育行政の推進と市民の皆様への説明責任を果たすために、毎年、教育委員会の事務の管理や執行の状況について点検・評価を行っています。

平成 29 年度の1年分を評価し、対象事業は、市総合計画の戦略プランに位置付けられている 10 事業と図書、文化振興、教育のあり方検討事業の 13 事業です。

分かりやすいように事業概要や数値化した評価等を載せています。この結果を、今後の事業改善につなげていきます。

詳しくは市のホームページをご覧ください。



## 「田沼のまちとむらを歩く —昔の地図を見よう！—」を開催しました

平成30年度牧之原市史料館特別展及び来年の田沼意次侯生誕300年を記念して、11月13日から12月2まで「田沼のまちとむらを歩く—昔の地図を見よう！」を開催しました。

新発見の「相良城下町絵図」をはじめ、北は坂部から南は地頭方まで、ほぼ市内全域の古絵図・古地図を約40点展示しました。

来年は、田沼意次侯の生涯をテーマに、これまでの調査研究を総決算した展示会を企画中です。ご自宅に田沼家に関する資料がありましたら、当館までお知らせください。

2019年  
田沼意次侯生誕300年



(史料館:53-2625)  
(社会教育課:53-2646)

### ▼新教育長・新教育委員任命▼

橋本勝教育長が9月30日に任期満了となり、10月1日に再任をされ、平成33年9月30日まで継続となりました。

牧之原市教育委員会教育委員の澤田衛さんが11月16日に再任されました。(任期4年)

牧之原市菊川市学校組合教育委員会教育委員の近江賢市さんが10月1日に再任されました。(任期4年)

	牧之原市 教育委員会	学校組合 教育委員会
教育長	橋本 勝(再)	橋本 勝(再)
委員(教育長職務代理者)	大石幸雄	近江賢市(再)
委員	澤田 衛(再)	戸塚洋一
委員	吉住幸子	鈴木達也
委員	寺井ゆみ	道下茂子

### ▼地方教育行政功労者表彰▼

牧之原市教育委員会教育委員 澤田衛さんが、平成30年10月12日、文部科学省において平成30年度地方教育行政功労者として表彰されました。

この表彰は、文部科学省が各都道府県や市町村の教育行政において、功労が特に顕著な教育委員会の委員等に対して行っているものです。

澤田委員は、12年にわたって教育委員を務められ、その功績により、今回の受賞となりました。



新しい時代を見据えた牧之原市の教育環境を検討しています

～魅力的で選ばれる教育環境を目指して～

少子高齢化やグローバル化、高度情報化の進展等、社会が激しく変化しており、10年後には今ある職業の半分はなくなるとも言われています。

子どもたちが自立し、能動的・主体的に社会を生き抜く力を確実につけていくことが必要であり、教育の果たす役割が今後一層重要となっています。

このような中、市では、2月から「教育のあり方検討委員会」を設置し、これから望ましい教育環境について検討してもらいました。12月に検討内容をまとめたものを答申書として教育委員会に提出がされます。

義務教育の9年間を通して、充実した教育内容、魅力的な教育環境をスピード感を持って整えていきたいと考えています。



▲プログラミング教育



▼静岡駅での街頭アンケート(主体的学び)

# 中学校秋季大会(新人戦)結果

静岡県中学校体育連盟 主催

野球  
▼榛原地区大会  
1位 相良・牧之原  
合同チーム

サッカー  
▼榛原地区大会  
2位 榛原中学校  
▼小笠地区大会  
1位 御前崎中学校

卓球(男子)  
▼榛原地区大会  
1位 榛原中学校(団体)  
2位 相良中学校(団体)  
▼小笠地区大会  
1位 御前崎中学校(団体)  
▼個人  
1位 山本 修也(榛原中)  
2位 森 大翔(榛原中)

ソフトボール  
▼榛原地区大会  
1位 相良中学校

ソフトテニス(男子)  
▼榛原地区大会  
1位 相良中学校(団体)  
▼個人  
1位 奥山・東海林ペア  
(榛原中)  
2位 中山・桑田ペア  
(榛原中)

卓球(女子)  
▼榛原地区大会  
1位 榛原中学校(団体)  
▼個人  
1位 高橋 杏奈(榛原中)  
2位 村上 彩羽(榛原中)

バスケットボール(男子)  
▼榛原地区大会  
2位 相良中学校  
▼小笠地区大会  
2位 御前崎中学校

ソフトテニス(女子)  
▼榛原地区大会  
1位 榛原中学校(団体)  
▼個人  
1位 小島・鈴木ペア  
(榛原中)  
2位 田中・原口ペア  
(相良中)

剣道(男子)  
▼榛原地区大会  
2位 榛原中学校(団体)  
▼個人  
1位 大石 陽介(榛原中)  
2位 絹村 太健(相良中)

バスケットボール(女子)  
▼榛原地区大会  
2位 榛原中学校  
▼小笠地区大会  
1位 御前崎中学校

柔道  
▼榛原地区大会  
1位 榛原中学校(団体)

剣道(女子)  
▼榛原地区大会  
1位 榛原中学校(団体)  
2位 相良中学校(団体)  
▼個人  
1位 山本みのり(相良中)  
2位 丸山 桜桃(榛原中)

バレー(女子)  
▼榛原地区大会  
2位 榛原中学校  
▼小笠地区大会  
2位 御前崎中学校

※市立及び学校組合立中学校の1位・2位を掲載しています。

## 編集後記

以前、相良小学校に静岡大学の小和田哲男先生がいらっしゃった時「歴史書には『大鏡』や『増鏡』など『鏡』という言葉が入るもの多い。このことから、歴史は未来を写す鏡であり、歴史を学ぶことは未来を見通す力を身につけることに通じることが分かります。」ということをおっしゃったのを覚えています。

来年の田沼意次侯生誕300年に向けて様々な取り組みがなされ

ています。しかし時に「なぜ、今さら田沼なの?」というような言葉も耳にします。田沼意次侯、勝間田氏や鈴木梅太郎博士など、歴史に名高い郷土の偉人たちの功績をたどることを通して、先の見えない現在を生きる私たちが、未来を切り拓く知恵を得ることができます。

歴史は未来を写す鏡。この言葉を今一度噛みしめて、しっかりと学び、力強く未来を切り拓いていきたいです。【編集委員長 澤田 衛】